

温室効果ガスを削減して地球温暖化をくい止めることはサステイナブルな未来のための重要課題です。今回は大気中の温室効果ガス濃度と密接な関係にある「土壌」に着目し、農地からの温室効果ガス発生を抑えた作物生産技術や温室効果ガスを吸収・蓄積する土壌管理など、地球温暖化の解決に土壌からアプローチする研究をご紹介します。

2024年  
3月17日

13:00～16:00 (開場12:30)

オンライン開催／参加無料 (定員500名)  
どなたでもご参加いただけます

申込方法:

右のQRコードよりお申し込みください  
ZoomのURLをメールでお知らせします  
【申込締切日: 3月16日(土)】



# 第1回 地球温暖化 解決への 土壌からの アプローチ



## 農業から発生する温室効果ガスとその削減

秋山 博子

農研機構 農業環境研究部門 気候変動緩和策研究領域 革新的循環機能開発グループ長



## 地球にCoolな作物生産

当真 要

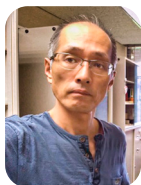
北海道大学 大学院農学研究院 教授



## 土壌に炭素を貯める技術の昔と今

加藤 拓

東京農業大学 応用生物科学部 准教授



## 土壌は地球を救う！ ～食料生産と気候変動緩和の一石二鳥

白戸 康人

農研機構 農業環境研究部門 気候変動緩和策研究領域長



## 人ー土壌ー気候が影響し合う驚くべきつながり: 全球シミュレーションから見える土壌と環境の相互作用

仁科 一哉

国立環境研究所 地球システム領域 主任研究員

主催



一般社団法人 日本土壤肥料学会  
Japanese Society of Soil Science and Plant Nutrition

お問い合わせ

日本土壤肥料学会創立100周年記念事業  
本シンポジウム担当



【お問い合わせ先】